

1 改訂のポイント

- (1) 施策評価の実施による見直し
 - ・重要業績評価指標や事業の進捗状況、施策等評価会議でのご意見を踏まえた見直し
- (2) 国の動向を踏まえた修正
 - ・国の動向（まち・ひと・しごと創生戦略、政府予算等）を反映
- (3) 平成 29 年度以降の各種施策の「深化」に向けた修正
 - ・県議会、県民会議でのご意見や社会情勢を踏まえた見直し
 - ・H28.3 月の戦略改訂以降の動きを反映（G 7 環境大臣会合、H28.9 補正等）
 - ・地方創生推進交付金等を活用して数年にわたって重点的に実施していく事業を反映

2 基本目標別の施策の「深化」のための見直しの方向性（案）

次の方向性により、事業の拡充や戦略に記載された具体的な施策の必要な見直しを行う

◆基本目標 1 結婚・出産・子育ての願いが叶う環境整備

- 県、市町村及び民間団体による婚活支援に関する連携・ネットワークの構築、ノウハウの共有化など結婚支援体制の強化
- 周産期医療と市町村や厚生センターが実施する母子保健事業との連携等による妊娠期からの切れ目のない支援体制の強化
- 子宝モデル企業の取組みの普及など、仕事と子育てを両立しやすい職場環境づくり

◆基本目標 2 産業振興、若者等の雇用創出、観光振興、県内への移住促進

<産業・地域経済の活性化>

- 独立行政法人医薬品医療機器総合機構（PMDA）北陸支部及びアジア医薬品・医療機器トレーニングセンター研修所の設置や、最新鋭の質量分析計等の高度な分析機器を整備した「未来創薬開発支援分析センター」（仮称）の設置を契機とした医薬品産業の更なる振興
- ものづくり研究開発センターにおいて、新たに製品の評価を行う「製品機能評価ラボ」（仮称）やセルロースナノファイバーを活用した事業化を促進するための「セルロースナノファイバー製品実証・試作拠点」を整備することなどにより、県内企業の技術開発を支援
- 総合デザインセンターにおいて、国内外から若手デザイナーなどが集うデザイン交流創造拠点を整備し、県内企業のデザインを活用した商品開発や国内外への販路開拓を支援

<G 7 富山環境大臣会合の成果を踏まえた取組みの推進>

- 「富山物質循環フレームワーク*」の採択を踏まえ、食品ロス・食品廃棄物の削減を推進するため、「推進県民会議」を設置して県民ぐるみの運動を展開するなど、資源効率性・3Rの取組みを一層推進

* G 7 富山環境大臣会合（平成 28 年 5 月）において採択された国際的な枠組みで、食品ロス・食品廃棄物の削減など、資源効率性や 3 R の推進を国際的に協調して取り組むもの

<若者の県内定着>

- 富山県立大学において、学科拡充・新設や看護学部の開設等に伴う新校舎などの施設整備を進め、県内高校生の進学先としての魅力向上、県内産業界への高度人材の供給と若者の県内定着を図る
- 就職セミナーや合同企業説明会等の場を通じて、特に転出超過が著しい、若い女性のU I J ターンの促進及びインターンシップの充実・強化
- 県内の優れた企業、暮らしをPRすることにより、大学生の県内定着促進に向けた取り組みの推進

<観光の振興、定住・半定住の促進>

- 立山黒部の世界ブランド化に向けた取り組みの推進
- 新幹線駅や空港を拠点とした県内外を広く周遊する広域観光の促進
- 欧米豪など新規市場からの誘客強化や東アジア・東南アジアからのリピーター拡大、F I T（外国人個人旅行者）の受入環境の整備促進
- 日本橋とやま館を活用したさらなる魅力発信
- 「富山くらし・しごと支援センター」の運営機能の強化、移住・転職フェアの開催などによる、さらなる移住促進

◆基本目標3 女性・高齢者など多様な人材の確保と労働生産性の向上

<多様な人材確保>

- 生産年齢人口の減少や昨今の労働力不足に対応するため、女性、高齢者をはじめとした人材のより一層の確保・育成
- 結婚・出産を機に離職した女性のためのセミナーや職場見学会、キャリアコンサルティングによる再就職支援の推進
- 元気なシニア世代が意欲と能力に応じて、生涯現役で活躍できる環境を整えるため、とやまシニア専門人材バンクの取り組みの推進
- アセアン地域からの留学生の受入促進

<労働生産性の向上>

- 北陸新幹線開業の影響や消費者ニーズの変化への対応、国の「サービス産業チャレンジプログラム」の優良事例の普及等によるサービス産業の生産性の向上

◆基本目標4 活力あるまち・健やかな暮らし・未来を担う人づくり

<交通、まちづくり>

- 富山きときと空港に近接する総合体育センターとの相互利用促進に向けた環境整備
- 商店街の空き店舗を活用した住民ニーズの高い業種の出店やシェア・オフィス等の整備のモデル的支援、宅配サービスや移動販売などの買い物弱者対策の取り組みの推進

<健康寿命の延伸>

- 「健康寿命日本一」に向けた事業を多角的に展開し、県民一人ひとりの健康づくりへの意識向上や取り組みを一層推進

<豊かで快適な環境づくり>

- 「北東アジア自治体環境専門家会合」で採択された新たな「2016 とやま宣言」（平成 28 年 5 月）に基づく、気候変動や生物多様性、海洋ごみに関する調査、青少年の環境保全体験交流プログラム等の取組みをより一層推進

<地域を担う人づくり、文化振興>

- ふるさと富山に対する誇りと愛着を育むとともに、ふるさと文学の振興を図るため、高志の国文学館の展示内容の充実
- 県民が優れた文化を鑑賞する機会の充実を図るため、富山県美術館や利賀芸術公園の整備及びそれを契機とした芸術文化の創造・発信

◆重要業績評価指標（KPI）

- 引き続き、KPI を基に、各般の取組みの進捗状況を把握し、必要な見直しを実施。
- 国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の KPI について、戦略期間の中間年である平成 29 年度に必要な見直しを行う動きがあること、県政運営の中長期的指針である総合計画が見直されることなどを踏まえ、平成 29 年度以降、必要な見直しを行うことを検討。